



名古屋大学大学院 経済学研究科

大学院入試説明会 2026

一般：博士前期課程

2026 年 7 月 15 日(水) 13:00-14:00





名古屋大学大学院 経済学研究科 大学院入試説明会 2026

本研究科の特徴

名古屋大学大学院経済学研究科 博士前期課程

一般選抜・外国人留学生特別選抜における コース制について

2027年度入学者選抜より導入される、2つのコースの目的・選抜・指導体制を整理

研究者養成コース

高度専門人養成コース

コース分けの概略

一般選抜・外国人留学生特別選抜では2コースを創設します。これとは別に、社会人特別選抜による社会人コースがあります。

経済学研究科 博士前期課程

一般選抜・外国人留学生特別選抜

社会人特別選抜

研究者養成コース

5年一貫教育プログラムによる内部進学者を含む

高度専門人養成コース

社会人コース

入学定員(すべてのコースを含む)

社会経済システム専攻 30名

産業経営システム専攻 14名

※上記はコース別定員ではなく、博士前期課程全体の専攻別入学定員です。

目的に応じた教育・研究指導

コース制は、志願者の学修・研究上の目的に合わせて、指導の重点を明確にするための仕組みです。

研究者養成コース

博士後期課程への進学を希望・検討し、将来の研究職や博士号を前提とする高度専門職を想定している人
明確な研究テーマをもち、特定の研究分野を極めたい人

早い段階から専門知識を深め、指導教員による研究指導を受ける

高度専門人養成コース

博士前期課程修了後、経済学・経営学の専門性を社会・実務で活かすことを想定している人
幅広く経済学・経営学について学び、そこから専門性を深めたい人

多様な知識・アプローチの中から、専門性を高める学修・研究を行う

いずれのコースも、経済学・経営学の高度な専門知識と分析能力を身につけ、修士論文を作成します。

コース分けによって何が変わるのか

変わるのは、主に「指導体制」と「出願・入試」です。英語は共通ですが、提出書類と学科試験には違いがあります。

1

指導体制

研究者養成コース

1年次から、原則として1名の指導教員が継続的に研究指導

高度専門人養成コース

複数教員によるチーム指導のもとで学修・研究を進め、2年次初めまでに修士論文を主として指導する教員を決定

2

出願・入試

研究者養成コース： 希望指導教員（第1・2希望）と研究計画書を提出

高度専門人養成コース： 学修計画書を提出

英語（外部試験）は共通

学科試験：

研究者養成コースがA～D類から合計2題、
高度専門人養成コースがA～D類から1題

併願可能： 併願する場合は、研究計画書と学修計画書の両方を提出し、学科試験は研究者養成コース志願者と同じ扱い。

併願について

研究者養成コースと高度専門人養成コースは、同じ入試の中で併願できます。

1

一度に受験できます

2つのコースを別々に受験するのではなく、出願時に「併願」を選択して、同一の選抜の中で受験。

2

出願時の手続き

出願書類の「志望コース」欄で「併願」を選択します。
研究者養成コースに対応する研究計画書と、高度専門人養成コースに対応する学修計画書の両方を提出
希望指導教員(第1・第2希望)も指定します。

3

試験と合格後の扱い

学科試験は研究者養成コース志願者と同じ扱いとなり、A～D類から合計2題を選択します。
最終合格者には、研究科が合格コースを1つ決定して通知します。

注意: 併願して合格した場合でも、通知された合格コースで入学します。合格後に他方のコースへ変更することはできません。

研究者養成コース: 出願から研究指導まで

研究計画と希望指導教員との適合性を、出願時から明確にします。

1

出願時

第1希望・第2希望の指導教員を指定

2

合格時

原則として指導教員が決定

3

在学中

1名の指導教員による継続的な研究指導

4

2年次

修士論文を中心とした研究指導

研究計画書に記載する主な内容

研究テーマ、学術的な問題意識、これまでの学習状況、
研究計画、希望教員の研究分野・研究アプローチとの適合性

研

出願前に確認したいこと

自分の研究テーマや問題意識が、希望する指導教員の研究分野・
研究アプローチとどのように合うかを十分に検討します。

高度専門人養成コース: チーム指導と2年間の進め方

チーム教員の多様な視点を活かし、1年次の学修・演習から2年次の修士論文指導へつなげます。

チーム指導体制

- ・ 教員3～4名がチームとなり、学生6～10名を指導
- ・ 入試では希望指導教員を指定しない
- ・ チームは入学時に決定
- ・ チーム教員のうち1名が学務上の指導教員となり 学修計画の確認や必要な助言を行う

多様な助言を受けながら、自分の専門性を段階的に絞り込んでいく

2年間の進め方

1年次

チーム教員が分担して演習を担当。文献論文の読み方、論文の書き方、基礎的な分析手法などを学ぶ。

1年次終盤

修士論文のテーマについて検討を開始。学務上の指導教員が学修計画を確認する。

2年次初めまで

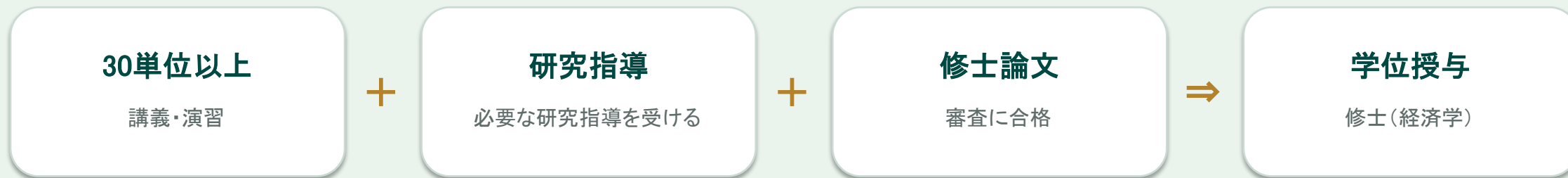
チーム教員の中から、修士論文を主として指導する教員を決定する。

2年次

修士論文を中心とした研究指導

両コースに共通する修了要件

どちらのコースも、修士論文を作成し、修士（経済学）の学位を目指します。



ただし、修士論文審査で重視される観点には、コースの性格に応じた違いがあります。

研究者養成コース

学術的探究力・博士論文執筆に向けた研究遂行能力をより重視

高度専門人養成コース

社会・実務での活躍に向けた応用的・実践的能力を重視

博士後期課程への進学の流れ

高度専門人養成コースからも進学は可能ですが、受験する試験が異なります。

研究者養成コース修了者

博士後期課程進学試験
または
編入学試験



博士後期課程へ

高度専門人養成コース修了者

博士後期課程編入学試験



博士後期課程へ

研究者養成コース修了後の博士後期課程進学は任意です。高度専門人養成コースには、研究者養成コース対象の進学試験は適用されません。

コース選択は「目的」から考える

まずは、博士前期課程でどのように専門性を作りたいのかを確認します。研究テーマがすでに明確で、特定分野を継続的に掘り下げたい場合と、幅広い分野に触れながら専門性を形成したい場合では、適した研究指導の形が異なります。

1

修了後の方向性

博士後期課程への進学を見据えるのか、
修了後に専門性を社会・実務で活かすのか。

2

研究テーマの明確さ

特定の研究テーマ・分野が明確か、
幅広く学ぶ中で専門性を深めたいか。

3

指導体制への希望

特定教員の継続的指導を重視するのか、
複数教員の視点を活かしたいのか。

研究テーマが明確で、特定分野を極めたい

→ 研究者養成コースを中心に検討

幅広く学び、そこから専門性を深めたい

→ 高度専門人養成コースを中心に検討

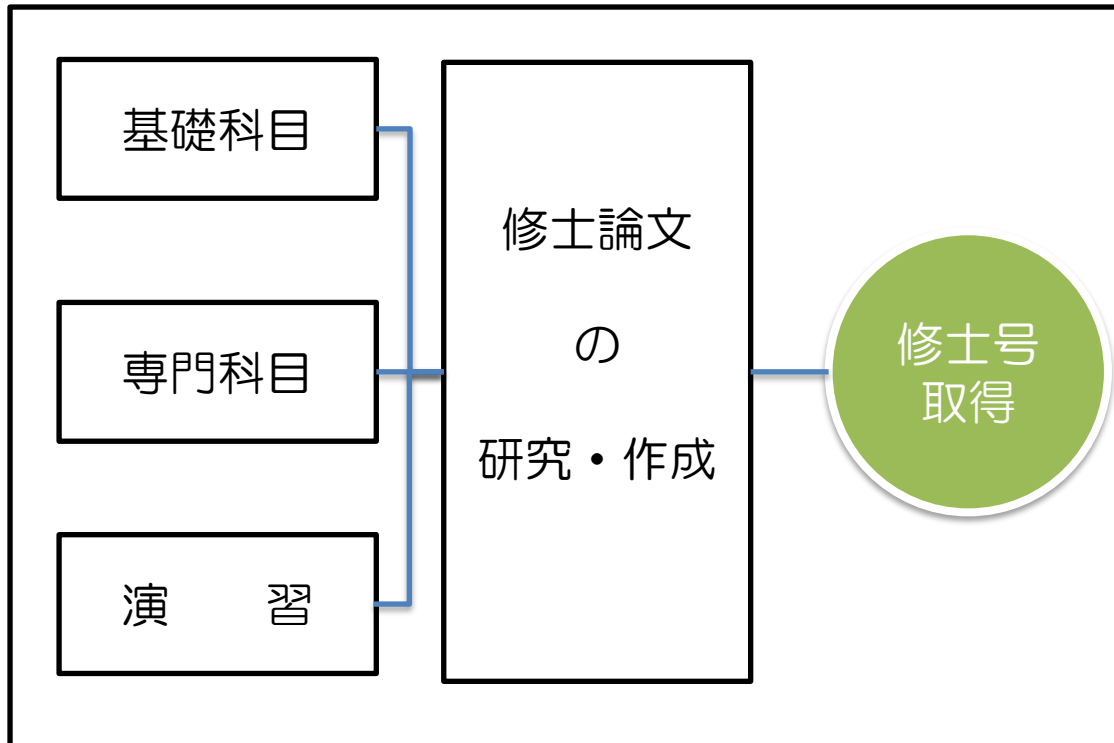
A stylized silhouette of the Nagoya city skyline in shades of green and blue, set against a dark blue background. The skyline includes several prominent skyscrapers.

名古屋大学大学院 経済学研究科 大学院入試説明会 2026

大学院博士前期課程の概要

博士前期課程の全体像

博士前期課程（2年間）



進学

博士後期課程（3年間）

研究者養成コース

高度専門人養成コース

就職

社 会

専攻・分野・科目

社会経済システム専攻

理論・政策

上級価格理論
上級所得理論
上級計量経済
上級数理経済
エコノメトリクス

制度・歴史

上級政治経済学
上級経済学史
上級経済史

国際経済 公共経済
農業経済 労働経済
産業組織 財政
金 融

現代資本主義
経済学史
社会思想史
日本経済史
西洋経済史

産業経営システム専攻

経 営

上級経営

マネジメント

経営労務
ファイナンス
生産管理
マーケティング
経営組織
経営戦略
経営情報

会 計

上級会計

アカウンティング

財務会計
管理会計
監査
経営分析
国際会計

基礎科目

専門科目

基礎科目・専門科目（講義）

- 基礎科目

上級レベルの理論を学ぶ

例）理論・政策：マクロ経済学（所得理論），ミクロ経済学（価格理論）

- 専門科目

各専門領域の最新論文を読むなど，先端的な研究に触れる機会の提供。

演習（ゼミナール）①

- ・指導方法は指導教員や分野，そしてコースによって異なる

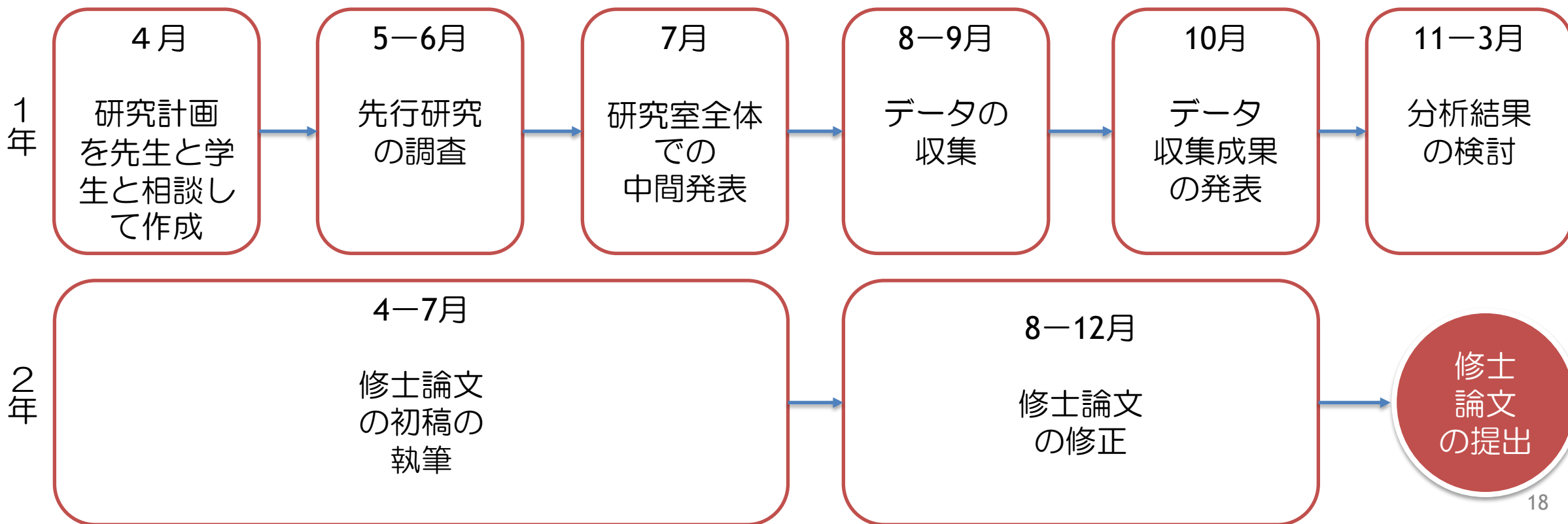
例）私（政治経済学演習）の場合

- ・日時
 - M1：毎週金曜6限（社会人院生が参加するため）
 - M2：毎週金曜5限
- ・内容：
 - ①学生によるサーベイ・修論進捗状況報告
 - ②教員による研究報告

演習（ゼミナール）②

- 研究者養成コースにおける個別指導。

例）A研究室の場合（週1回研究室での個別指導）



研究者養成コースにおける演習①

- 演習への配属（＝指導教員の決定）は，入学選抜時になされます。

○利点

- 自分が指導教員を選択するので，ミスマッチの無い状態で入学できる
- 研究者養成コースゆえに，博士後期課程進学を見越した指導教員の手厚い指導を受けられる

※「指導教員に出願する」という意識が必要。

※同時に、第1希望の指導教員にこだわらない柔軟性も必要。

研究者養成コースにおける演習②

- 指導教員の研究についての情報を集める



名古屋大学経済学部・経済学研究科
Graduate School / School of Economics



English

アクセス

名古屋大学

・組織の概要

・教育・研究

経済学部教育

大学院教育

国際交流

教員紹介

特色ある取り組み

・入試情報

・学内向け情報

・経済科学

教員紹介

社会経済システム専攻 / 経済学科 (Economics)

氏名 / Name		HP	専門分野 / Research Field		ゼミ紹介 (大学院)
伊藤カンナ	ITO, Kanna		西洋経済史	Economic History	Q
植村 優貴	UEMURA, Yuki		マクロ経済学	Macroeconomics	Q
木越 義則	KIGOSHI, Yoshinori		アジア経済史	Asian Economic History	Q
工藤 敦孝	KUDOH, Noritaka	Q	マクロ経済学	Macroeconomics	Q
篠田 和彦	SHINODA, Kazuhiko		計量経済学	Econometrics	Q
清水 克俊	SHIMIZU, Katsutoshi	Q	金融論	Banking, Finance, and Monetary Economics	Q
園田 正	SONODA, Tadashi	Q	農業経済	Agricultural Economics	Q
周 墨	ZHOU, Yu	Q	マーケットデザイン	Market Design	Q
玉井 寿樹	TAMAI, Toshiki	Q	公共経済学	Public Economics	Q
田村 彌	TAMURA, Wataru		情報の経済学	Information Economics	Q
敦賀 貴之	TSURUGA, Takayuki	Q	応用マクロ経済学	Applied Macroeconomics	Q
土井 康裕	DOI, Yasuhiro	Q	経済統合論	Economic Integration	Q
鍋島 直樹	NABESHIMA, Naoki		政治経済学	Political Economy	Q
花園 誠	HANAZONO, Makoto	Q	産業組織論	Industrial Organization	Q
福澤 直樹	FUKUZAWA, Naoki		ドイツ社会政策史	History of Social Policy in Germany	Q
藤田 真哉	FUJITA, Shinya	Q	政治経済学	Political Economy	Q
萬行 英二	MANGYO, Eiji		開発経済学	Development Economics	Q
柳原 光芳	YANAGIHARA, Mitsuyoshi		財政学	Public Finance	Q

研究者養成コースにおける演習③

- 自分が希望する「研究テーマ」と「研究手法」が指導教員と合致しているかどうかを判断する。
 - 研究テーマ：国際経済学や財政学などの分野，ならびに具体的な問い。多岐にわたる。
 - 研究手法：データ分析，数理モデルの構築・解析，シミュレーション，歴史的な資料収集など，学術的な問いに答える手段。
- 大学生が今現在思い描いている「テーマ」や「手法」に固執するのは得策ではない。
 - 大学院で最先端の研究を学ぶ、という謙虚さ。
 - 「研究室に飛び込む」というオープンな気持ち。
 - ただし、「ここだけは譲れない」を明確に。
 - 絶対にデータ分析をしたい、絶対に財政問題に関わりたい、絶対にシミュレーションしたい、絶対にゲーム理論を使いたい、など。

高度専門人養成コースにおける演習①

- 複数教員によるチーム制の研究指導が行われる

○利点

- 様々な分野の教員の指導を受けられる
- 多様な教員に触れることで、社会で活躍するうえで必要な幅広い知識やスキルが得られる
- 論文の読み方・書き方、分析手法など、アカデミックスキルを磨くことができる

高度専門人養成コースにおける演習②

- 1年次にはチーム教員が分担して演習を担当する。演習では、文献の読み方、論文の書き方、基礎的な分析手法等について、各教員の専門性や強みを生かした指導が行われる。
- 2年次には、博士前期課程修了後に社会・実務の場で高度専門人として活躍することを志向するコースの性格に照らし、修士論文の作成を中心とした研究指導が行われる。修士論文の審査では、経済学・経営学領域の専門知識と研究能力等が審査される。

博士後期課程に進学しない場合

- 研究者養成コースの学生であっても，前期課程修了後に就職することも可能。
- インターンシップや就職活動と学業が同時進行。
 - 修士1年目は科目履修に軸足を置き，2年目は就職活動と修士論文に専念するのが一般的。
- 修士論文には何が求められるのか。
 - 既存研究の堅実な学び
 - 既存の分析手法を借りて，新しいデータでアプローチ
 - 既存の数理モデルを借りて，新しい分析を少しでも追加

主な就職実績（修士）

- 令和7年度
- ARISE analytics, Deloitte China, EDIONクロスベンチャーズ, IHI, Tencent, アイヴィス, 愛知県職員, 愛知淑徳大学教員, アクセンチュア, 開元, キーエンスソフトウェア, 構造計画研究所ホールディングス, 国元証券, ジーリー（吉利）汽車, 上海高校教員, ソフィア総合研究所, 中国工商银行, 重慶分行, テクノスジャパン, デロイトトーマツ, 東陽テクニカ, ニッセイアセットマネジメント, 日鉄ソリューションズサービスアンドテクノロジー, ネオジャパン, 農林中央金庫, ハイアール, パナソニック（中国）, 福岡倉庫, マーチャント銀行, 三菱電機デジタルイノベーション, 明治産業, 容誠会計事務所, レバレジーズ ほか

博士後期課程に進学する場合

- 高度専門人養成コースからでも、博士後期課程編入学試験に合格すれば、後期課程に進学することも可能。
- 修士1年目は科目履修に軸足を置き、2年目は修士論文に専念。
- 進学を希望する学生の修士論文に要求する学術レベルはやや高くなる。
 - 博士論文指導を見据えて論文指導を行います。
- 後期課程の説明会は本日14時開始。
 - 是非引き続きご参加ください。

大学院の概要を知る

- 大学院紹介パンフレット：
<https://www2.soec.nagoya-u.ac.jp/education/graduatesc/>
- 各研究室を紹介するスライドを御覧ください
（説明会HP内の教員名をクリック）：
<https://www2.soec.nagoya-u.ac.jp/education/teacher/>





名古屋大学大学院 経済学研究科 大学院入試説明会 2026

大学院博士前期課程入試の概要

大学院前期課程入試の概要 (一般)

大学院入試説明会2026

2027年度（入学）の入試方法

一次募集（出願期間：8月17日～8月20日16:00 日本時間）

- 第一次試験：学科試験・英語外部試験
- 第二次試験：口述試験（第一次試験合格者のみ）

二次募集（12月出願）10月公開予定の募集要項を参照のこと

- 第一次試験：学科試験・英語外部試験
- 第二次試験：口述試験（第一次試験合格者のみ）

2027年度（入学）の入試日程

出願

-インターネット登録

8/3～8/19

-出願書類受付

8/17～8/20

口述試験

9/28～9/30

一次募集

学科試験

9/1

合格発表

10/14

出願

2026年12月中旬

口述試験

2027年2月中旬

二次募集

学科試験

2027年1月下旬

合格発表

2027年2月
下旬

(10月下旬公開の募集要項を参照)

一次募集：募集人員

募集人員

一般選抜（研究者養成コース，高度専門人養成コース），社会人特別選抜（社会人コース）を合わせて，

- 社会経済システム専攻 30名
- 産業経営システム専攻 14名

2027年度（入学）募集人員の総数は上記の人数のため，**二次募集の募集人員は両専攻ともに若干名**となる

一次募集：出願方法

- インターネット出願登録

2026年8月3日(月)~2026年8月19日(水)16:00(日本時間)

- 入学検定料の支払い

入学検定料30,000円（「インターネット出願の流れ」を参照）

- 出願書類の郵送

2026年8月17日(月)~2026年8月20日(木)16:00必着

一次募集：出願書類

- 名古屋大学大学院志願票/名古屋大学大学院写真票
- 経済学研究科志願書及び履歴書
- 研究計画書（研究者養成コース）または
学修計画書（高度専門人養成コース）
- 学業成績証明書
- 卒業(見込)証明書
- 英語能力を証明する書類（TOEFL-iBT, TOEIC, IELTSのうち、いずれか一つの成績通知書を提出：成績通知書は受験日が2024年8月21日以降のものを有効とする）

一次募集：出願書類

- 研究計画書（研究者養成コース）

研究テーマを明記し，学術的な問題意識を明確にしつつ，

1）これまでの学習状況， 2）これからの研究計画について記述。研究計画においては，希望する指導教員の**研究分野および研究アプローチとの適合性**についても記載。

- 学修計画書（高度専門人養成コース）

1）これまでの学習状況， 2）博士前期課程で学びたい内容， 3）修了後のキャリアプランについて記述。

※ 併願者は，「研究計画書」と「学修計画書」両方提出が必要。

一次募集：第一次試験

学科試験

ここで1題目の答案を回収。

月日	時間※	学科目※			場所
9月1日 (火)	研究者 養成コース 10:00-11:00, 11:10-12:10	社会経済 システム 専攻	A類：ミクロ経済学・マクロ 経済学・計量経済学 (統計学分野を含む) B類：政治経済学・経済史	A類は3題, B, C, D類は各2 題出題される。 研究者養成コース志願者：A～D 類より合計2題を選択すること。 ただし, 自分の申請した専攻に対 応する類の中から少なくとも1題 は選択すること。 高度専門人養成コース志願者：A ～D類より1題を選択すること。	本研究科
	高度専門人 養成コース 10:00-11:00.	産業経営 システム 専攻	C類：経営学 D類：会計学		

※研究者養成コースと高度専門人養成コースの併願者は研究者養成コースの記載事項に従い学科試験を受験すること。

- 学科試験の出題範囲及び参考図書は募集要項を参照のこと
- 過去問題：学部・研究科のウェブページに掲載

一次募集：第一次試験

外部英語試験

- 英語能力を証明する書類（TOEFL-iBT, TOEIC, IELTSの成績通知書）を選考に用いる。
- 出願時に成績通知書が有効なものか十分注意すること（受験日が2024年8月21日以降のものを有効とする）。

第一次試験合格者発表

2026年9月9日(水) 18:00頃（予定）

一次募集：第二次試験

※第一次試験合格者のみ

口述試験

- 2026年9月28日(月)・29日(火)または30日(水) 10:00～(9:30集合)：口述試験日は第一次試験合格通知に記載
- 研究者養成コース：研究計画書やそれに関連する経済学・経営学の知識を問うほか，外国語の能力についても確認を行うことがある。
- 高度専門人養成コース：学修計画書に基づき，志願者のこれまでの学習状況や今後の学習意欲を問うほか，研究指導への適応力およびコミュニケーション能力についても確認。
- 併願者：上記の両方が口述試験に含まれる。

一次募集：最終合格者発表

最終合格者発表

2026年10月14日(水) 18:00頃（予定）

二次募集

- 募集人員：社会経済システム専攻・産業経営システム専攻ともに若干名
- 出願方法・書類・試験方法等の詳細は10月公開予定の募集要項を参照のこと（日程等を除き一次募集と同じになる見込みであるが、方法等が変更となる可能性もあるので十分に注意すること）



名古屋大学大学院 経済学研究科 大学院入試説明会 2026

質問コーナー

Q&A

Q) 国際開発研究科の講義も履修できますか。

A) はい、指導教員の同意を得た上で履修可能です。

Q) 英語試験で求められる水準はどのくらいですか。

A) 外部試験における得点の目安は非公開です。本研究には英語で授業が行われる科目や必須の文献が英語である科目なども多数あり、英語で修士論文を書くことが求められる研究室もあります。大学院入学後の学業に支障が出ないよう、日頃から英語力向上の意識を持つことをおすすめします。